

教育委員意見交換会

日時 令和4年11月24日(木) 午前10時00分～午後0時20分

場所 堺市役所 高層館10階 教育委員室

出席者 河盛幹雄委員、鈴木真由子委員、長田翼委員

(事務局)山崎久樹教育次長、長山秀基教育監

中山真裕美教委総務部長、岩井伸司教委総務課長、

富岡重幸教職員人事部長、樋口信征教職員企画課長、志波政宏教職員人事課長、

竹内新学校教育部長、益本里佳学校保健体育課長、

渡邊耕太能力開発課長、南健次教育環境整備推進室長、

橋本宏司教育政策課長、至田義朋教育政策課長補佐、楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・市長からの意見聴取(令和4年度堺市一般会計補正予算)について
- ・市長からの意見聴取(堺市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例)について
- ・令和5年度堺市立学校園教職員定数配分方針の策定について
- ・堺市立高等学校教員(商業)採用選考試験の実施について
- ・第66回大阪府学生科学賞について
- ・部活動地域移行に係る検討状況について
- ・その他非公開案件1件あり

・市長からの意見聴取(令和4年度堺市一般会計補正予算)について

教育委員会事務局及び学校園教職員の給与について、民間給与との比較等に基づく人事委員会勧告をふまえ、一般職の職員(会計年度任用職員を除く)の給料及び勤勉手当について改定を行うことから、所要額の補正を行うことを説明。

(主な意見)

- ・特になし

・市長からの意見聴取(堺市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例)について

学校園教職員の給与について、民間給与との比較等に基づく人事委員会勧告をふまえ、一般職の職員(会計年度任用職員を除く)の給料及び勤勉手当について改定を行うことから、条例改正を行うことを説明。

(主な意見)

- ・特になし

・令和5年度堺市立学校園教職員定数配分方針の策定について

国の動向や本市の教育施策をふまえて、毎年度独自の教職員定数配分方針を定めており、令和5年度の堺市立学校園教職員定数配分方針(案)について説明。

(主な意見)

・支援学級の人数が年々増えており、それに伴い、1 学級増える学校もあるので、将来予測を行い、教員の採用計画について対応してほしい。

⇒支援学級の学級数については将来予測をして、採用計画を作成しているが、今後も注視する。

・小学校の教科担任制の加配を行ったことによる効果検証は行っているのか。

⇒働き方改革の観点では、教科担任制を取り入れたことで授業準備への負担軽減に繋がっている。校長からも、教員の教材研究の時間が確保できる、子どもと向き合える時間が増える等の意見を伺っている。今後も効果検証をしっかりと行う。

⇒新たな学校マネジメントモデル学校群で、例えば理科の専科教員を配置した場合、担任教員の授業準備の負担軽減に繋がることや、学校群で授業の情報共有をすることにより、授業の質が良くなっていくと考えている。

・堺市立高等学校教員(商業)採用選考試験の実施について

令和 5 年度に学校教員(商業)の欠員が見込まれるため、教員採用試験(商業)を実施する旨を説明。

(主な意見)

・商業の教員免許取得者は少ないと思うが、人材の確保は大丈夫か。

⇒商業の教員免許取得者が少ないことや、現在勤めている方は仕事を退職する必要がある等の様々な状況はあるが、市ホームページへの掲載や、ツイッター、求人広告等を活用し、情報の発信をしっかりと行い、応募してくれる人材の確保に努めていきたい。

・第 66 回大阪府学生科学賞について

第 74 回堺市学校理科展覧会(以下「理科展」)に出品された作品の中から、小・中学校各 6 点、合計 12 点を大阪府学生科学賞に推薦し、最優秀賞に小・中学校で合計 4 点が選ばれた。また、最優秀賞の中で 1 位の位置づけにある大阪府知事賞については、小・中学校ともに堺市から出品した作品が選ばれ、その他、優秀賞についても、2 点が選ばれた旨を説明。

(主な意見)

・大阪府学生科学賞の本市の成績については、過去の成績もよい。自由研究の成果を本市理科展で発表し、優秀な研究を推薦しているが、今回推薦を行った 12 点だけでなく、もう少し多く推薦しても受賞できる力作が揃っていると思っている。

・本市がたくさん受賞している理由として、良かった点などはあるのか。

⇒毎年夏休み明けの本市理科展に向け、各学校で作品募集をしており、令和 4 年度も市内小・中・高から 1 万 1 千点ほど応募があったことや、堺科学教育振興会と連携しながら科学教育推進事業を進めていることが要因だと思っている。

・研究発表をしっかりと情報発信してほしい。こういう研究をしたいと思うきっかけ作りやキャリア形成の参考にもなるのではないかと思う。

⇒理科が好きな小学 6 年生対象に、観察・実験に取り組み、自由研究を行う堺サイエンスクラブを令和 4 年度も実施しており、大阪府学生科学賞最優秀受賞者の研究発表内容についての紹介を行った。令和 5 年度の児童にも引き続き、研究発表内容の紹介をする。

・部活動地域移行に係る検討状況について

令和7年度末の休日部活動の地域移行に向けた検討状況について説明。

(主な意見)

- ・地域の方々への働きかけは、教育委員会事務局で行うことができるのか。
⇒教育委員会事務局には、例えば学校施設開放事業を所管している組織があり、そのような部署から地域への働きかけも可能である。まずはモデル事業を実施しながらになると思う。
- ・指導者の外部委託をした場合に事故やトラブルが発生することが想定される。事故時の保険手続きだけでなく、個人のボランティアの方が訴えられた場合に、訴えられたということで多方面に影響が生じるので、個人の不利益が生じないように対策を検討してほしい。
- ・部活動の指導者に対する研修の実施主体はこれからの検討になると思うが、制度面、技術面、暴力やハラスメントを防ぐコンプライアンス等、研修の中身も検討してほしい。